

2023/11/26(日)

12:00-20:00

すみだパークギャラリーささや

予約不要・無料

音・からだ・

くうきと遊ぶ日

THE SHAPE OF SUMIDA

# すみだのかたち

Presented by さんぼチーム

## SAMPO TEAM

マリンバ  
野木青依

スティールパン  
MC.sirafu

コーディネーター  
宮崎有里

## [ GUEST ARTIST ]

ピアノ  
小野龍一

おどり  
木村玲奈

ヴォーカリスト  
田上碧

音楽家  
やけのほら

## 🕒 TIME TABLE

12 13 14 15 16 17 18 19 20



13:30 / 15:30 / 17:30 はその場にいる全員でセッションタイム

詳細・最新情報はこちら

<https://sampo-team.amebaownd.com/>

🔍 すみだのかたち



企画・制作・広報：さんぼチーム 制作アシスタント：磯野玲奈 宣伝美術：竹内巧 記録撮影：富田了平 インストーラー：田草川祐一  
協力：一般社団法人藝と、さんぼとライブご参加の皆さん

主催：さんぼチーム、「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会 共催：墨田区 協賛：株式会社東京鉄業、東武鉄道株式会社  
お問い合わせ：さんぼチーム sampoteam@gmail.com ※内容は変更になる場合があります。

※「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会事務局は（公財）墨田区文化振興財団が担っています。



ひとつながる。  
墨田区



# アーティストが集い、変化し続ける その日限りのプレイグラウンドがすみだに出現！

すみだのまちを散歩して見つけた風景や印象を“演奏のもと”に、  
マリンバ奏者の野木青依と音楽家の MC.sirafu が即興演奏。  
そこにおどりやピアノなどゲストアーティストも加わって、  
さまざまな表現が生まれては変化し続ける  
その日限りのプレイグラウンドが出現します。  
演奏を聴いたり、そこで出会った人とおしゃべりしたり、  
一緒に身体を揺らしたり、そこにいっただけでも…思い思いにお過ごしください。  
お子さまから大人まで、どなたでもぜひ遊びにいらしてください！

## さんぽとライブ すみだのかたち



みんなで墨田区をお散歩して、  
気になったものを写真撮影

八広(9/2)、菊川～森下(9/9)にて、  
「すみだのかたちさんぽとライブ」を開催しました。

演奏会場に到着したら、  
写真を見ながら  
散歩の思い出を共有



野木とMc.sirafuが  
その写真や思い出話を  
"演奏のもと"に、すぐに生演奏！

### 場所 すみだパークギャラリーささや

東京都墨田区横川1-1-10

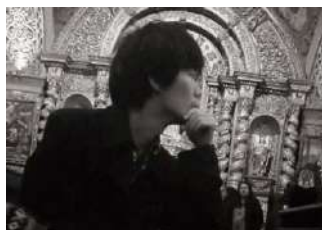
- JR総武線「錦糸町駅(北口)」より徒歩15分
- 半蔵門線・東武線・都営浅草線・京成線「押上駅」より徒歩15分
- 東武伊勢崎線「とうきょうスカイツリー駅」より徒歩12分
- 都営浅草線「本所吾妻橋駅」より徒歩10分



note  
ビート & アンビエント  
プロデューサーの  
TOMC による、  
当日のレポートはこちら

参加者がすみだのまちで見つけた  
“演奏のもと”や、そこから導き出された楽曲は、  
「すみだのかたち」会場にて展示・演奏します！

## GUEST ARTIST



### 小野龍一 Ryuichi Ono

音楽家。1994年東京生まれ。東京芸術大学の作曲科を卒業後、同大学院美術研究科を修了。環境における音楽と人との関係性の「変奏」をコンセプトに、音楽をはじめ展示や舞台型の作品など領域横断的な制作を行う。近年の主な展覧会・公演に、「ひびのこぶえ×アオイヤマダ×小野龍一『ROOT:根』」(2021, そごう美術館)、「川口隆夫『パラセダンス 純粋性愛批判』」(2022, ゲーテ・インスティテュート東京)などがある。



### 木村玲奈 Reina Kimura

振付家・ダンサー。ダンスは誰のために在るのか、ダンスそのもの・ダンス活動・作品・公演の構造を問いながら、国内外で創作・作品提示を展開する。主な振付作品に『6steps』『どこかで生まれて、どこかで暮らす』『接点』がある。'19-'20 セゾン・フェロー。'20 - 東京郊外に『糸口』という小さな場・拠点を構え、土地や社会と緩やかに繋がりがながら、発表だけにとどまらない実験と交流の場を運営している。



### 田上碧 Aoi Tagami

ヴォーカリスト。2014年頃より野外から劇場空間まで幅広い場で体ひとつで歌うことから活動を始める。歌うことの行為や現象としての側面を浮き彫りにするパフォーマンス、歌と語りを織り交ぜた楽曲の演奏、即興演奏や詩作など、シンプルな実践を通して声と身体による表現の可能性を探る。2019年、インドネシア滞在を経てヴォイスの即興演奏を始め、2022年からは自作曲の弾き語りを中心に活動中。2023年よりバンド「ガラガラ」始動。



### やけのはら Yakenohara

DJや作曲、ラップ、執筆業など、多様なフィールドを独自の嗅覚で渡り歩く。楽曲「RELAXIN」のMVが、「第17回文化庁メディア芸術祭」で新人賞を受賞。TARO NOHARA名義では、アンビエント作品をリリース。2023年、自動音楽構築システム「AISO」のためのアルバム「PARADISE LOST」を制作。雑誌「POPEYE」でのコラム連載など、文筆業も行い、著作「文化水流探訪記」を青土社から刊行。

## SAMPO TEAM

### 野木青依 Aoi Nogi

11歳からマリンバ演奏を始める。桐朋学園大学音楽学部卒業後、2018年8月メルボルンにて「第5回全豪マリンバコンクール」第3位並びに新曲課題における最優秀演奏賞受賞。2019年頃より即興演奏を表現方法のベースに「偶然」と「交流」を重視した企画・作品を発表。マリンバと街を練り歩く「マリンバ・ネリネリ」シリーズ、街や家に滞在する「マリンバさんのお引越」シリーズ、服の「もと」である型紙や布を楽譜として読み解く「ファッションを演奏する」など。

### MC.sirafu エムシーシラフ

自身のプロジェクト、「片想い」、「ザ・なつやすみバンド」、「うつくしきひかり」をはじめ、スティールパン、トランペット等マルチプレイヤーとして、過去には元ceroの特殊サポーター、VIDEOTAPE MUSIC、NRQ、曾我部恵一、空気公団などさまざまなバンドへ参加をする。フジロックをはじめ、全国のフェスに出演する傍ら、ローカルな地域へのフィールドワークも欠かさず、角打ち愛好家としての活動も知られている。

### 宮崎有里 Yuri Miyazaki

ニックネームはゆりえる。1995年千葉県生まれ。青山学院大学総合文化政策学部卒業。学生時代から都内のさまざまなアートプロジェクトのボランティアに参加。現在は「ファンタジア！ファンタジア！-生き方がかたちになったまち」事務局ほか、フリーランスで音楽やアートプロジェクトの制作/運営/広報に携わる。好きなものは芋、プラナリア。最近興味のあることは畜産農業と演じること。



会場にいらした  
皆さんの動きも  
音楽になります！